

農村活性化シンポジウム ～女性の輝きによる魅力ある農業と農村地域づくり～ を開催しました



日時 2017年12月15日 (金)
13:30～16:15
場所 札幌エルプラザ ホール
主催 北海道開発局、
北海道農政事務所
後援 北海道

- ◆農村地域の活性化における女性の役割の重要性について認識を深めていただくため、「女性の輝きによる魅力ある農業と農村地域づくり」をテーマに、北海道農政事務所との共催によりシンポジウムを開催
- ◆福岡市で九州一円の農産物を扱う直売所を経営する新開玉子氏と慶應義塾大学大学院の林美香子教授による講演や、道内で活躍する女性の方々によるパネルディスカッションで語られた輝く女性たちの経験や思いに農業者の方々など約140人が熱心に耳を傾けました

講演 1 “心を耕す農業”を目指して～女性の思いを農業・農村に～
(有)ぶどう畑 代表取締役 新開玉子 氏



「男性では気づかない感謝の気持ちや、まだ花開いていない、埋もれた部分を開拓するような技術を女性が発揮していけば農業は変わる」など、女性の視点や感性を活かすことの有用性について講演いただきました。

講演 2 女性と農村コミュニティビジネス
慶應義塾大学大学院SDM研究科 林美香子 特任教授



「主婦・生活者という女性の視点を活かすこと、都会のニーズを知ること、そして消費者と一緒に価値を共創することが必要。また、農業と他分野との連携「農×○○」が大切」など、農村で稼ぐための要点について講演いただきました。



パネルディスカッション 広げよう！輝く女性がつくる魅力ある農村地域



コーディネーター 北海道大学大学院 農学研究院 小林国治 准教授
パネリスト 北海道指導農業士協会監事 (株)at LOCAL代表取締役 北海道農政事務所 生産経営産業部長
(苫前町 伊藤牧場) (土幌町 夢想農園) 伊藤まち子 氏 堀田悠希 氏 橋本陽子 氏



農業者であるパネリストのお二人からは、「女性が力をつけた上で、女性の登用率が上がることがベスト。そこで行政、年配が若手をサポートするシステムがあればいい」、「女性たちは就農前のキャリアを生かして農業で活躍している。そういうロールモデルを作ること、地域の若い女性たちに農業も生きがいがあったら一生続けられると思ってもらいたい」など、魅力ある農村地域の実現のための意見がありました。

また、農政事務所からは、「多角化に取り組む経営体は女性が経営方針の決定に参画している傾向にあり、女性役員、管理職がいる経営体は収益力が向上することも数字で出ている。女性を経営や地域づくりに参加させないのはもったいない」など、農村での女性活躍の必要性や支援制度等について説明がありました。